

## 関西圏地盤情報データベース研究利用報告書

研究課題	大阪地域における浅部表層地盤を考慮した地震動評価と超高層集合住宅の地震応答		
研究者	東京理科大学創域理工学部建築学科・教授 永野正行		
研究期間	2023年 5月 ~ 2024年 5月	報告日	2024年 10月 20日
<b>研究目的：</b> 本研究では昨年度に引き続き、大阪地域の浅部表層地盤をモデル化し、非線形応答を考慮した地震動の増幅特性を評価するとともに、大阪地域に多数建設される超高層集合住宅の非線形応答推定を行う。昨年度は大阪府、産業技術総合研究所の三次元地下構造モデルを利用したが、本年度は関西圏地盤情報 DB による地盤情報も併せた検討を実施してきた。			
<b>研究内容と成果：</b> 現在、1995年兵庫県南部地震の震源断層モデルを用い、浅部・深部表層地盤を考慮した長周期地震動評価を実施している。神戸領域までの評価を行っているが、大阪平野全体まで解析領域を上げると、深部・浅部地盤のモデル化や数値計算時の発散等により、その検討に時間を要している。そのため、2023年度は十分な研究成果が得られず、対外発表は行われていない。			
<b>公開資料（論文等）：</b>			

※貸出期間終了後、研究利用報告書（本様式）と研究成果（論文等）を提出してください。

※研究利用報告書は、KG-NET の HP に掲載いたします。